

## 組合の一步が日本の一步

2017.11－2018.10

### 組合民主主義の再建

---

### 組織活動をじっくり再考しよう

---

現代の世界と自国と自分にとって、このまま後世に伝えたいもの、あるいは残してはならないと考えていることは何でしょう？

その問題の解決・前進のためにいま、何ができるでしょう？

労働組合は職場から民主主義を実践する有力な活動体の一つですが、『職場』の向こうの『社会』の期待、さらに『世界』メンバーの一員としての心構えはどうでしょう？

私たちの生きる世界は休みなく動きます。私たち自身もまた日々に変化していきます。個人は全体に対しては小さな存在ですが、全体を作っているのは個人です。個人の声が集まって社会を動かします。組合の偉大な力を考えましょう。

「21 組合研究会」は労組リーダーの考える力を磨き、発信力を高め、職域職場から地域社会、政治経済の運動に影響力を広げたいと願います。

「21 組合研究会」は 1996 年 11 月 13 日に第一回を開催しました。年に 11 回の例会を持ち、この 10 月で 242 回を数えます。

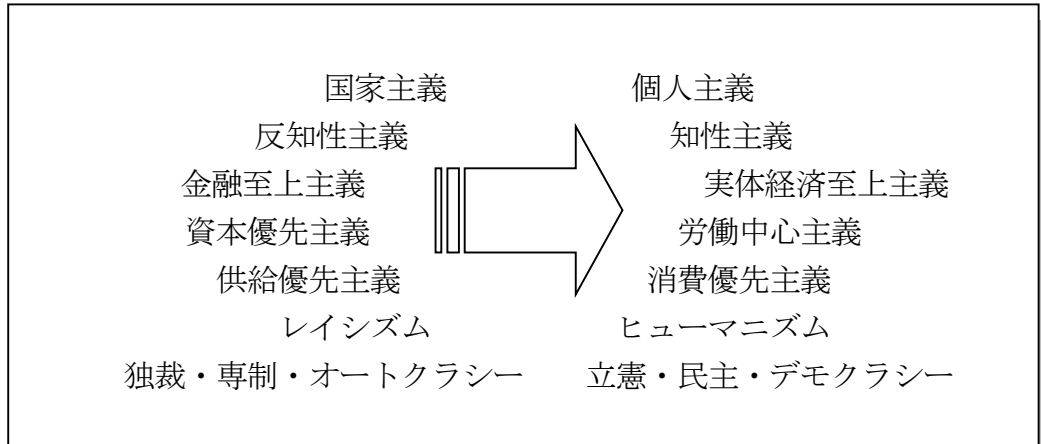
11 月から 23 年目の「21 組合研究会」を開催します。ご参加下さいませ。

21 組合研究会 主宰

奥井 禮喜

# 大衆運動論 21

現在の我が国を席卷する価値観を再編成する必要がある



研究会のコンセプト

リーダーは人間観に基づいた活動を

## 活動のあり方を考える視点

運動の高揚（あるいは停滞）には 歴史的必然性 がある  
運動の高揚（あるいは停滞）には 大衆的共感性 がある  
運動の高揚（あるいは停滞）には 理想的改革性 がある

## 大衆が社会の主人公、組合は大衆の運動体

- 組織が維持・発展していくために、「継続すべきこと」「改善すべきこと」「創造すべきこと」を計画⇒ 実行⇒ 統制しなければならない。
- 組合活動を改革していくためには、次の3分野を攻略しなければならない。「活動システムの改革」「支持・支援者の拡大」「新事業の開発」
- 世界は無常である。変化する状況下において現状維持は退化の兆しである。常に「これでいいのか」という自己否定が不可欠である。

| 21 組合研究会第 23 年次テーマと日程<br>組合活動をじっくり再考しよう |                |                    |
|---|----------------|--------------------|
| 研究 1                                    | 2017/11/08 (水) | プロローグ              |
| 研究 2                                    | 2017/12/13 (水) | I 原理 1.民主主義        |
| 研究 3                                    | 2018/01/10 (水) | 2.基本的人権            |
| 研究 4                                    | 2018/02/14 (火) | 3.労使対等             |
| 研究 5                                    | 2018/03/14 (水) | II 理論 1.「労働組合」とは何か |
| 研究 6                                    | 2018/04/11 (水) | 2.「賃金」とは何か         |
| 研究 7                                    | 2018/05/09 (水) | 3.「労働時間」とは何か       |
| 研究 8                                    | 2018/06/13 (水) | III 実践 1.組織する      |
| 研究 9                                    | 2018/07/11 (水) | 2.教育する             |
| 8 月 夏休み                                 |                |                    |
| 研究 10                                   | 2018/09/12 (水) | 3.宣伝する             |
| 研究 11                                   | 2018/10/10 (水) | エピローグ              |

【最近のテーマ】 論文（1996-2005）のガイダンスはホームページでごらんいただけます。

【2017 年度】 ①歴史は役に立たない②情報に価値がない③日本人は非知性的④金銭は価値を生み  
ず⑤人間らしい人間⑥嫉妬・憎悪・欲望⑦レイシズムにはまる⑧悲劇か喜劇か⑨公共は誰のもの⑩ア  
パシーの罨⑪組合活動の視界

【2016 年度】 ①労働現場の民主主義—労使対等と経営参加②職場の民主主義はいかにして機能停  
止したか③民主主義の原理 1—権力と非権力④原理 2—自由と参加⑤原理 3—自我と自己決定⑥原理 4  
—ヒューマニズム⑦原理 5—連帯と分断⑧原理 6—自治の力⑨原理 7—民主主義の質⑩原理 8—安全保  
障 1⑪原理—安全保障 2

【2015 年度】 ①Union Identity 再建のために ②個人主義が ethos を作る ③敗戦後労働運動の  
出発 ④敗戦後労働運動の出発 2 ⑤高度経済成長がもたらしたもの ⑥戦後労働運動の踊り場に立っ  
て ⑦組織離れの本質は何か ⑧大衆社会の空虚な現実 ⑨labor work action ⑩経営参加はど  
こまでできたか 1 ⑪経営参加はどこまでできたか 2

【2014 年度】 ①Union Identity 再建のために ②個人主義が ethos を作る ③敗戦後労働運動の出  
発④敗戦後労働運動の出発-2- ⑤高度経済成長がもたらしたもの ⑥戦後労働運動の踊り場に立って  
⑦組織離れの本質は何か ⑧大衆社会の空虚な現実⑨labor work action⑩経営参加はどこまでできたか  
- 1 ⑪経営参加はどこまでできたか-2

【2013 年度】 ①日本の世界史的位置 - 1 ②日本の世界史的位置-2 ③明治時代の理想 ④日本的庶  
民像の今昔 ⑤日清戦争と日韓併合 ⑥日露戦争 ⑦日本の精神の形成 ⑧EU 思想とその淵源-1 ⑨EU  
思想とその淵源-2 ⑩EU 思想とその淵源-3 ⑪東アジアの未来

【2012 年度】 ①前進か後退か（日本の針路）②上面と本質（政治家の資質）③感性と理性（日本  
人の資質）④農民と哲学（啓蒙高揚期）⑤記憶と忘却（周辺国の思い）⑥未来の私（超高齢社会）⑦  
床の間の掛け軸（人生日々哲学）⑧変えるべきか（憲法の精神）⑨生きる精神（人生設計と組合）⑩  
Why What How（理念と政策）⑪散文の精神（現実と対峙する）

## 2 1 研究会の進め方

研究会は有限会社 ライフビジョン代表・奥井禮喜の講義を中心に進めます。  
最初の一時間は奥井からテーマに関する講義をします。  
続いて定刻までフリートーク。軽食とアルコールがお供いたします。  
前頁 11 件のシラバスは、時節の話題と入れ替わることもあります。  
講義は毎回、一万字程度 of 原稿にしてお渡しします。  
2 1 研究会の学習スタイルはこのまま皆様組織に出前します。(費用別途)

**日時** (原則) 毎月第二水曜日、18:30-20:30  
原則第二水曜日開催。状況によって変更することがあります。

**会場** 有限会社 ライフビジョン (原則)  
〒151-0063 渋谷区富ヶ谷 1-53-4 本橋ビル 3F  
小田急「代々木八幡」商店街側出口、改札を出て左手斜め前ハンバーガー店ビル 3F  
千代田線「代々木公園」1 番出口、地上に出て右手斜め前ハンバーガー店ビル 3F

**年会費** 42,000 円/組織(複数名参加可) 21,000 円/個人  
他に当日の軽食と飲物代としてご出席の都度 1,500 円/人 程度。  
会場に余裕がある場合は複数人でのご出席も可能です。

**定員** 10 個人・団体

**募集** 定員になり次第締め切ります。

**申込** 下記ご記入の上お申し込み下さい。

fax:03-3460-4456 or office@lifev.com

| 第 23 年次 2 1 組合研究会 2017-2018 申込書 |                     |
|---------------------------------|---------------------|
| 組織・団体名                          |                     |
| お申込者名<br>(例会のご案内宛名)             |                     |
| ご連絡先                            | 〒<br>tel fax e-mail |